

# 第11回免疫学セミナー

日時： 2月2日（火曜日） 18:00 - 19:30

場所： 管理棟 8F 第11カンファレンスルーム

講演者： 高岡 晃教 教授

北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子生体防御分野

タイトル： サイトカイン応答を誘導する自然免疫系の  
微生物センサー

## 講演要旨：

自然免疫系における微生物認識のメカニズムは、様々な**パターン認識受容体 (PRRs)**の同定に伴い、次第に明らかになってきました。また、微生物由来の様々な分子がPRRsのターゲットになることがわかり、認識後は、細胞内においてシグナル経路を活性化し、様々な遺伝子の発現誘導を起こします。最近我々は、DNAウイルスであるB型肝炎ウイルス (HBV) の自然免疫センサー分子が、自細胞内RNA認識に関わる代表的なPRRである**RIG-I** (retinoic acid-inducible gene)であることを見出し、その認識メカニズムについて明らかにしました。さらにその下流ではI型というよりも**III型 IFNs**が優位に産生誘導されることを見出しました。一方で本セミナーにおいては、細菌に対するセンサーに関連する我々の未発表データについても発表する予定であります。ヒトの胃に生息する***Helicobacter pylori*** の感染時に誘導され、胃炎の病態や発がんと密接な関連性が知られているインターロイキン-1 $\beta$ の誘導機構に関わる新たな宿主認識機構について得られたデータをお示し致します。このように本セミナーでは、サイトカイン応答を引き起こす自然免疫系における微生物センサーとその認識・活性化の仕組みについて考えてみたいと思います。

Host: 免疫学分野 (ext.7192)